

情報システム環境研究領域 履修例

学生の専攻分野・ 出身背景等(例)	総合科学部出身学生	他学部・他大学出身学生	社会人
研究テーマ(例)	近距離相互作用を持つ複雑系のシミュレーション	並列処理プログラミング教育の環境講座	ネットワーク社会の脆弱性の解析
履修科目(例)	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(情報システム環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> <b>【主領域科目】 (8)</b> 情報システム論 情報セキュリティ論 計算統計情報環境論 計算科学情報環境論 <b>【他領域科目】 (4)</b> 複雑系基礎論 先端的神経細胞科学 <b>自由選択科目 (4単位)</b> メディア通信特論 ICTリテラシー 研究倫理	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(情報システム環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> <b>【主領域科目】 (8)</b> 情報システム論 計算統計情報環境論 計算科学情報環境論 メディア通信特論 <b>【他領域科目】 (4)</b> 複雑系基礎論 科学・技術・社会論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 情報セキュリティ論 ICTリテラシー 研究倫理	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(情報システム環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> <b>【主領域科目】 (8)</b> 情報システム論 計算統計情報環境論 計算科学情報環境論 メディア通信特論 <b>【他領域科目】 (4)</b> 産業システム論 科学・技術・社会論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 計算科学情報環境論 ICTリテラシー 研究倫理
教育目標(例)	コンピュータとネットワーク技術の基礎と応用を身につけ、社会における情報技術の位置付けに関する広い視野を持ってインターネット、セキュリティ、データベース、並列分散処理、高度科学技術計算、メディアコミュニケーションなどの研究と解発を遂行することのできる人材を養成する。	学部でのコンピュータサイエンス、計算工学等の関連授業の履修を前提とせずに、計算機とネットワーク技術の基礎とその最新の応用について深く理解できる能力を養い、同時にe-ラーニング等のICT(情報コミュニケーション技術)を活用した教育手法を身につけさせる。	学部でのコンピュータサイエンス、計算工学等の関連授業の履修を前提とせずに、社会の中における情報技術の位置付けを評価できる能力をもった人材の養成をめざす。社会科学・人文科学を学部で学んだ学生は、その蓄積を生かせるような指導を行う。
授与学位	修士(学術)	修士(学術)	修士(学術)
養成する修了生像(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学・研究機関の研究者・教育者をめし、博士課程後期へ進学する者</li> <li>● 製造業の計算機シミュレーションを使用する開発部門の研究者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学・研究機関の研究者・教育者をめし、博士課程後期へ進学する者</li> <li>● 計算機教育関連業種のインストラクター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネットワーク・セキュリティ構築に携わるIT関連コンサルタント</li> </ul>